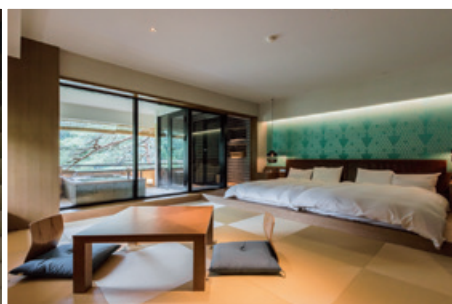




# D.REPORT

第101期中間報告書

平成28年4月1日から平成28年9月30日まで



大建工業株式会社

証券コード 7905

平素は格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。  
ここに第101期第2四半期連結累計期間(平成28年4月1日から平成28年9月30日まで)における当社グループの事業の概況をご報告申し上げます。

取締役社長  
億田 正則



当第2四半期連結累計期間のわが国経済は、雇用情勢は改善しているものの、個人消費は伸び悩み、また、世界経済の不確実性が高まるなかで金融資本市場が不安定になるなど、景気回復に足踏みがみられました。

住宅建設分野におきましては、賃貸住宅が好調を維持し、持ち家や分譲住宅にも回復の兆しがみられました。また、公共・商業建築（非住宅）分野におきましても、宿泊施設や倉庫・流通施設を中心に民間建設工事受注が好調に推移しております。

このような経営環境のもと、当社グループは、長期ビジョン『GP25』で目指している10年後のありたい姿の実現に向けて、3ヵ年の中期経営計画『GP25 1st Stage』をスタートさせました。将来想定されている日本国内の新設住宅の着工減に備え、住宅リフォーム市場、公共・商業建築分野、海外市場を重点市場と捉えて、新たな取り組みを推進しております。

住宅リフォーム市場では、TOTO(株)、YKK AP(株)と共同でTDYコラボレーションショールームを4月には金沢に、7月には高松にオープンし、リフォームを予定しているエンドユーザーへの提案の場を充実させるとともに、住宅リフォーム向けの製品のラインナップを拡充し提案の幅を広げました。公共・商業建築分野では、当社の強みである「防音」や「国産木材」などをキーワードとした新製品を発売し、同分野での実績づくりを推進いたしました。海外市場では、インドネシアにおいてドア工場を本格稼働させ、同国内及び周辺国への内装建材の供給体制の整備を行いました。また、主にオセアニア地域で要望の多い高吸音の天井材を市場投

入するとともに、MDFを中心に海外での売上の拡大に努めました。一方、為替相場が円高に推移しましたことから為替換算により、海外売上は前年を下回りました。

一方、利益面におきましては、物流と受発注の業務を扱っているそれぞれの部門を一つに統合した総合物流部を設置するとともに、新たな見積システムを開発・導入し見積業務のよりスピーディな対応を図るなど、顧客の利便性の向上と業務の効率化に努めました。

この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高827億22百万円（前年同期比1.2%増）、営業利益38億30百万円（前年同期比56.2%増）、経常利益40億2百万円（前年同期比62.6%増）、親会社株主に帰属する四半期純利益26億94百万円（前年同期比3.2%増）となりました。

今後につきましては、金融資本市場の変動や世界景気の下振れによる国内景気の減速、先行きの不透明感から来る消費の冷え込み、人手不足等によるコストの高騰に注意が必要であります。

住宅建設分野におきましては、消費増税の延期が決定されたことや今後もしばらくは住宅ローンの低金利が見込まれることなどから、消費者が住宅取得や改修を急がず、より時間をかけて検討することが推測され、市場環境としては足踏みがみられる状況になることが予想されます。

そのような市場環境のなか、当社は中期経営計画『GP25 1st Stage』に掲げている重点市場での売上拡大を図ります。

株主の皆様におかれましては、倍旧のご支援、ご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

## 住空間事業

住空間事業につきましては、重点市場として位置づけている住宅リフォーム市場、公共・商業建築分野での売上拡大に努めました。住宅リフォーム市場向けには釘や接着剤を使わずに既存の床の上に置いて吸着させるだけで施工できるリフォーム用床材「吸着フローリング」を発売いたしました。また、公共・商業建築分野向けには、建設着工が好調なホテル等の宿泊施設向けに、階下への音漏れを軽減する「防音性能」と、土足歩行や水がかりに対する「耐久性」を両立させた天然木化粧床材「コミュニケーションタフ 防音」を発売するなど、同分野のニーズに合った製品提案を進めました。利益面におきましては、様々な合理化に加え、昨年10月に

リニューアル発売した主力の内装建材シリーズへの切り替えが順調に進むなど、前年度後半からの利益基調が継続したことにより、前年同期比では改善しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高426億72百万円（前年同期比0.0%減）、経常利益19億34百万円（前年同期比0.8%増）となりました。



▲吸着フローリング  
裏面の吸着面を既存のフローリングなどに吸着させて固定する簡単施工が特長

## エコ事業

エコ事業につきましては、機械抄き和紙を原料とし、耐久性・デザイン性が特長である当社独自の畳おもてが、建設・改修が盛んなホテル・旅館向けとして採用が広がり、売上が拡大しました。MDFについては、床材のシート化が進んでいることなどにより、表面の平滑性の高い床用MDFの需要が伸び、売上を伸ばしました。また、エコ事業の国内主力工場である岡山工場において、LNGや重油ではなく木材チップを燃料とした「木質バイオマスボイラー」を7月に本格稼働させ、温室効果ガス（CO<sub>2</sub>）排出量削減等の環境負荷低減に努めました。利益面におきましては、原材料やエネルギー関連のコスト

ダウンを進めたことに加え、売上高の増加に伴い、前年同期比では改善しました。この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高280億84百万円（前年同期比2.4%増）、経常利益17億99百万円（前年同期比280.9%増）となりました。



▲宿泊施設に採用された「ダイケン健康やかおもて」

## エンジニアリング事業

エンジニアリング事業につきましては、公共・商業建築分野及びマンション市場を中心とした内装工事及び住宅リフォーム工事とともに、順調に推移いたしました。利益面におきましても、技能工不足等による原価高騰に対して、技能工の確保ならびに現場ごとの管理体制を強化し、利益の確

保に努めました。この結果、当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高61億27百万円（前年同期比0.0%増）、経常利益1億30百万円（前年同期は経常利益5百万円）となりました。

**通期の見通し** 通期の連結業績の見通しは、売上高1,710億円（前期比1.7%増）、営業利益78億円（同39.6%増）、経常利益80億円（同51.5%増）、親会社株主に帰属する当期純利益48億円（同20.3%増）を計画しております。

## 「TDY金沢コラボレーションショールーム」オープン ～北陸初、3社コラボレーションでさらなる情報発信力強化～

2016年4月23日、TOTO(株)、YKK AP(株)との3社のリモデルに関する情報発信基地となる、北陸初の「TDY金沢コラボレーションショールーム」がオープンしました。当社の展示スペースでは、国産材を使用した床、収納、間仕切りに畳を組み合わせ、スタイリッシュな和空間を演出しました。大容量の壁面収納や床、ドアなどをトータルコーディネートしたりリビングの空間展示で、暮らしをイメージしていただきながら、住まいづくりのお手伝いをいたします。音響・防音室では、シアタールームや楽器演奏を検討されるお客様に実際の音の響きや防音性能を体感していただけます。さらに、7月30日には四国初となる「TDY高松コラボレーションショールーム」もオープン。これにより、TDY3社共同運営のショールームが全国7拠点体制となりました。



## 岡山工場で木質バイオマスボイラーを増設 ～さらなる環境負荷低減に向け再生可能エネルギーへの転換を推進～

2016年7月27日、岡山工場にて省エネルギー、CO<sub>2</sub>排出量削減等の環境負荷低減を目的として建設を進めていた木質バイオマスボイラーが竣工稼働しました。木質繊維板や鉱物質繊維板の蒸気乾燥工程で使用する熱源をLNG（天然ガス）ボイラーから木質バイオマスボイラーに切り替え、木質バイオマスボイラー2基体制としました。これにより、CO<sub>2</sub>の排出量を年間8,000トン削減することを見込んでいます。また、今回の岡山工場でのエネルギー転換により、国内グループ工場全体でのCO<sub>2</sub>排出量は2015年度比で年間7%の削減、エネルギー使用量（原油換算値）に占める再生可能エネルギーの比率は2015年度実績42%から47%に高まる見込みです。今後も、地球環境に配慮したものづくりで社会に貢献します。



### ●連結貸借対照表(要旨)

(単位:百万円)

科目	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成28年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産	69,252	69,317
固定資産	60,980	58,395
有形固定資産	38,413	37,187
無形固定資産	2,432	2,420
投資その他の資産	20,135	18,786
繰延資産	82	68
資産合計	130,315	127,780
<b>負債の部</b>		
流動負債	61,378	59,312
固定負債	25,103	24,725
負債合計	86,482	84,037
<b>純資産の部</b>		
株主資本	38,519	40,929
その他の包括利益累計額	2,269	786
非支配株主持分	3,043	2,026
純資産合計	43,833	43,743
負債純資産合計	130,315	127,780

### ●連結損益計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)
売上高	81,702	82,722
売上原価	62,494	61,587
売上総利益	19,208	21,134
販売費及び一般管理費	16,755	17,304
営業利益	2,452	3,830
営業外収益	538	569
営業外費用	530	397
経常利益	2,460	4,002
特別利益	2,608	491
特別損失	759	610
税金等調整前四半期純利益	4,309	3,883
法人税、住民税及び事業税	233	615
法人税等調整額	1,399	449
四半期純利益	2,677	2,818
非支配株主に帰属する四半期純利益	67	123
親会社株主に帰属する四半期純利益	2,610	2,694

### ●連結キャッシュ・フロー計算書(要旨)

(単位:百万円)

科目	前第2四半期連結累計期間 (平成27年4月1日から 平成27年9月30日まで)	当第2四半期連結累計期間 (平成28年4月1日から 平成28年9月30日まで)
営業活動によるキャッシュ・フロー	1,087	4,885
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,247	△2,141
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,150	△2,434
現金及び現金同等物に係る換算差額	△273	△383
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	△4,582	△74
現金及び現金同等物の期首残高	16,774	11,134
現金及び現金同等物の四半期末残高	12,191	11,060

●会社の概要 (平成28年9月30日現在)

設立年月日 昭和20年9月26日  
 資本金 131億5,003万9,080円  
 本社及び事業所  
 本店 富山県南砺市井波1番地1  
 本社大阪事務所 大阪市北区堂島1丁目6番20号  
 東京事務所 東京都千代田区外神田3丁目12番8号  
 主要な営業所 札幌、仙台、東京、金沢、名古屋、大阪、広島、福岡、シンガポール  
 生産工場 三重工場 (三重県津市) 井波工場 (富山県南砺市) 岡山工場 (岡山市南区) 高萩工場 (茨城県高萩市)  
 連結子会社 株式会社ダイフィット (鳥取県倉吉市) 株式会社ダイウッド (三重県伊賀市) セトウチ化工株式会社 (岡山市南区) 富山住機株式会社 (富山県砺波市) 大建工業(寧波)有限公司 (中国 浙江省) 大建阿美昵体(上海)商貿有限公司 (中国 上海市) PT.DAIKEN DHARMA INDONESIA (インドネシア 東ジャワ州) 株式会社ダイタック (岡山市南区) 会津大建加工株式会社 (福島県会津若松市) DAIKEN NEW ZEALAND LIMITED (ニュージーランド ランギオラ市) DAIKEN SARAWAK SDN.BHD. (マレーシア サラワク州) DAIKEN MIRI SDN.BHD. (マレーシア サラワク州) C&H株式会社 (大阪府岸和田市) エコテクノ株式会社 (東京都千代田区) ダイケンエンジニアリング株式会社 (大阪市北区) 鉱工業株式会社 (東京都千代田区) 三恵株式会社 (大阪府東大阪市) ダイケンホーム&サービス株式会社 (大阪市北区) 株式会社スマイルアップ (大阪市北区) ダイケン物流株式会社 (大阪市北区)

●役員 (平成28年9月30日現在)

取締役			
取締役会長	澤木良次	澤木良次	澤木良次
代表取締役社長	億田正則	億田正則	億田正則
取締役専任	加藤智明	加藤智明	加藤智明
取締役専任	照林尚志	照林尚志	照林尚志
取締役専任	播磨哲男	播磨哲男	播磨哲男
取締役専任	鈴木憲隆	鈴木憲隆	鈴木憲隆
取締役専任	水野浩児	水野浩児	水野浩児

監査役			
常勤監査役	今村喜久雄	今村喜久雄	今村喜久雄
常勤監査役	島田睦博	島田睦博	島田睦博
社外監査役	蓮沼彰夫	蓮沼彰夫	蓮沼彰夫
社外監査役	井上雅文	井上雅文	井上雅文

執行役員			
執行役員社長	億田正則	億田正則	億田正則
専務執行役員	加藤智明	加藤智明	加藤智明
専務執行役員	冬木敏夫	冬木敏夫	冬木敏夫
常務執行役員	照林尚志	照林尚志	照林尚志
常務執行役員	播磨哲男	播磨哲男	播磨哲男
上席執行役員	北川隆雄	北川隆雄	北川隆雄
執行役員	布施成人	布施成人	布施成人
執行役員	佐藤憲一	佐藤憲一	佐藤憲一
執行役員	吉田和雅	吉田和雅	吉田和雅
執行役員	児玉淳伸	児玉淳伸	児玉淳伸
執行役員	野村孝伸	野村孝伸	野村孝伸
執行役員	成田彦一郎	成田彦一郎	成田彦一郎
執行役員	早瀬敏幸	早瀬敏幸	早瀬敏幸
執行役員	松川保	松川保	松川保
執行役員	飯沼友明	飯沼友明	飯沼友明

●株式の状況 (平成28年9月30日現在)

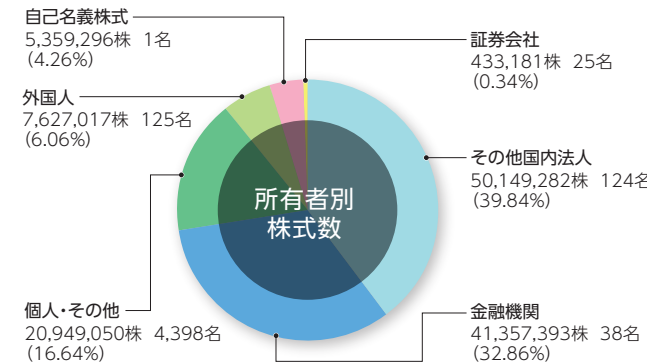
発行可能株式総数 ..... 398,218,000株  
 発行済株式の総数 ..... 125,875,219株  
 株主数 ..... 4,711名

●大株主の状況 (平成28年9月30日現在)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
伊藤忠商事株式会社	31,948,000	26.5
株式会社三井住友銀行	4,934,903	4.1
住友生命保険相互会社	4,656,000	3.9
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	3,973,000	3.3
大建工業取引先持株会	3,672,000	3.0
三井住友信託銀行株式会社	3,440,000	2.9
住友林業株式会社	3,191,000	2.6
丸紅株式会社	2,821,942	2.3
日本生命保険相互会社	2,728,346	2.3
三井住友海上火災保険株式会社	2,608,000	2.2

(注) 1. 当社は、自己株式を5,359,296株保有しておりますが、上記大株主からは除外しております。  
 2. 持株比率は自己株式を控除して計算しております。

●株式分布状況 (平成28年9月30日現在)



当社のホームページでも  
 詳しい情報を開示しております。

<http://www.daiken.jp/>

大建工業 検索



TOPページ  
 「会社情報」をクリック  
 してください。



「会社情報」の  
 「株主・投資家の皆様へ」  
 をクリックしてください。



情報サイトの一部

「株主・投資家の皆様へ」では、社長メッセージをはじめ、決算短信・業績ハイライト・有価証券報告書などの各種財務情報や、招集通知などのIRイベント情報など、豊富なデータをご覧いただけます。



## 株主メモ

事業年度 毎年4月1日から翌年3月31日まで

定時株主総会 毎年6月開催

基準日 定時株主総会 毎年3月31日

期末配当 毎年3月31日

中間配当 毎年9月30日

株主名簿管理人及び 東京都千代田区丸の内一丁目4番1号

特別口座の口座管理機関 三井住友信託銀行株式会社

株主名簿管理人 大阪市中央区北浜四丁目5番33号

事務取扱場所 三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(郵便物送付先) 〒168-0063

東京都杉並区和泉二丁目8番4号

三井住友信託銀行株式会社 証券代行部

(電話照会先) ☎ 0120-782-031

(インターネットホームページ) <http://www.smtb.jp/personal/agency/index.html>

【株式に関する住所変更等のお手続きについてのご照会】

証券会社の口座をご利用の株主様は、三井住友信託銀行株式会社ではお手続きができませんので、取引証券会社へご照会ください。

証券会社の口座をご利用でない株主様は、上記の電話照会先までご連絡ください。

【特別口座について】

株券電子化前に「ほふり」（株式会社証券保管振替機構）を利用されていなかった株主様には、株主名簿管理人である上記の三井住友信託銀行株式会社に口座（特別口座といいます）を開設いたしております。特別口座についてのご照会及び住所変更等のお届出は、上記の電話照会先をお願いいたします。

公告の方法 電子公告（当社のホームページに掲載する）

<<http://www.daiken.jp/>>

上場金融商品取引所 東京証券取引所

### 表紙写真について



① TDY高松コラボレーションショールームの空間展示



② 商業施設に採用されたスギ間伐材のフローリング



③ キッズデザイン賞を受賞したリビングドア



④ 宿泊施設に採用された「ダイケン健やかおもて」



⑤ ホテル向けフローリング「コミュニケーションタフ 防音」

キノウを超える、ミライへ。

DAIKEN

UD FONT